



日勤労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.3.25 No. 4569

97春闘勝利！貨物格差回答粉碎！

3・28緊急総決起集会へ！

千葉
機関区
へ全力結集を

全ての組合員の皆さん！
九七春闘勝利！貨物格差回答粉碎！「三・二八緊急総決起集会」に全力で結集しよう！

分割・民営化のシ
ワ寄せを許すな！

九七春闘をめぐっては、一九日に西日本、東海が回答を行なっているが東日本、貨物については未だに回答が出されていない状況となっている。

とくに貨物に関しては、この間、動労総連合と貨物会社との間で四回にわたって団体交渉が行われた。その中で貨物会社は「輸送量が前年対比で九二・六％に落ち込み、全体で九五％の収入実績」であることを理由に「昨年より数段厳しい」という回答に終始している。

しかし、こうした貨物会社の構造上の問題は、一〇年前の分割・民営化の時に「三年で終わるだ」などと陰口をたたかれていた時から、すでに指摘されていたことである。それが、この一〇年間で年々悪化し、全てのシワ寄せが貨物で働く労働者の上に覆い被さり、あらゆる面で「格差」が生じてきたのだ。

分割・民営化の最大の矛盾が貨物会社に集中するような政策を行なった政府・運輸省、資本こそ責任を取らせるべきであり、格差粉碎へ今こそ立ち上がる時だ！

格差に手を貸す
貨物労の解体を

そして、この貨物格差拡大に率先協力しているのがJR貨物労だ！

貨物労は、この数年間、春闘においては東日本との差が開くことを承知で新賃金要求を行い、それを職場の労働者に強制してきたばかりか、今年の新春フォーラムでは「ちゃんとした民間会社になり得る土壌が確立される新フレイト21」「われわれも血を流し、肉も小骨も切る」と称して、「新F21」貨物六千人ということを表明しているのだ。この言葉の中には、職場の中であらゆる格差攻撃、合理化攻撃と闘う労働者のことなど何も語られていないのである。

結局、貨物労・城石の頭の中にあるのは、JR東日本と革マルとの結託体制をいかに維持し、そのもとで革マルだけが生き残れるのかどうか最大の問題になっているのだ。先の新春フォーラムでは東日本社長・松田を呼び、その中で「貨物と東日本の間には全く問題ない」と最大限持ち上げ、貨物労働者を犠牲にしても東日本と革マルの結託体制を守ることが貨物労・城石の役割になっている。

九七春闘勝利！貨物格差回答粉碎！「三・二八緊急総決起集会」に結集しよう！

3.19 土
佐倉拠点

日勤者8名がストに突入
伝統の佐倉支部で解散大会

三月十九日、佐倉支部は、佐倉機関区廃止！を掲げて断固ストライキに突入するとともに、伝統ある佐倉支部の解散大会が佐倉機関区において開催されました。

まず、笠井副支部長の司会で進められ、まず、八名の日勤者が十一時よりストに入ったことが報告されると全体の拍手で確認されました。

議長には能勢君が選出され、あいさつに立った宮内支部長は「佐倉機関区が廃止されることは断腸の思いです。佐倉でのそれぞれの経験を生かして新小岩・千葉機関区で頑張ろう」と悔しさを怒りにかえて闘うことを訴えました。

動労千葉を代表して布施副委員長は「『新フレイト21』貨物六千人体制』粉碎に向けた闘う体制を作り上げよう。組織を上げた勝負は、来年のダイ改だ。三・一九ストを皮切りにこの一年間を闘いぬこう」と述べ、その



の後、田中支部書記長による方針提起を受けて質疑が行なわれ、支部解散という事態の中でも、新小岩・千葉機関区支部で頑張ることを全体で確認して団結力ンパロー三唱を行い、佐倉支部の解散大会を終了しました。
(佐倉支部通信員発)

3・28緊急総決起集会

とき 二月二十八日 (金)
一八時から

ところ 千葉機関区

九七春闘に勝利しよう！貨物格差回答を粉碎しよう！
全支部から千葉機関区へ全力で結集しよう！